

## 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会 第 31 回海域活断層評価手法等検討分科会 議事要旨（案）

1. 日 時                      令和 6 年 12 月 18 日（水）13 時 30 分～17 時 00 分

2. 場 所                      ウェブ会議による開催

3. 議 題                      (1) 日本海南部の海域活断層の長期評価について  
(2)   
(3) その他

4. 配付資料

（本資料）

海活 31-(1)                      第 30 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨（案）

（参考資料）

海活 31 参考資料 1-1	メーリングリスト[umikatsu]における議論
海活 31 参考資料 1-2	日本海南部の海域活断層の長期評価に関する資料
海活 31 参考資料 1-3	日本海南部の海域活断層の特性表案
海活 31 参考資料 1-4	富山トラフ横断断層の変位速度の推定（岡村主査資料）
海活 31 参考資料 1-5	ゲンタツ瀬・大グリ南東縁断層帯に関する資料（岡村主査資料）
海活 31 参考資料 1-6	富山トラフ横断断層等における地震発生層の下限の深さに関する資料
海活 31 参考資料 1-7	日本海南部の海域活断層の長期評価における区域分けに関する資料
海活 31 参考資料 1-8	平均変位速度ならびに平均再来間隔について
海活 31 参考資料 1-9	近畿ー北陸沖海域活断層案及び反射断面（海活 23 参考資料 4 より一部抜粋）
海活 31 参考資料 2-1	<span style="background-color: #cccccc; display: inline-block; width: 280px; height: 1em;"></span>
海活 31 参考資料 2-2	<span style="background-color: #cccccc; display: inline-block; width: 260px; height: 1em;"></span>
海活 31 参考資料 2-3	<span style="background-color: #cccccc; display: inline-block; width: 450px; height: 1em;"></span>
海活 31 参考資料 2-4	<span style="background-color: #cccccc; display: inline-block; width: 510px; height: 1em;"></span>
	<span style="background-color: #cccccc; display: inline-block; width: 90px; height: 1em;"></span>
海活 31 参考資料 3	今までに公表した海域活断層に関する情報提供

5. 出席者

主 査 岡村 行信                      国立研究開発法人産業技術総合研究所

委 員	芦 寿一郎	地質調査総合センター活断層・火山研究部門名誉リサーチャー 国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
	石山 達也	国立大学法人東京大学地震研究所准教授
	伊藤 弘志	海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官
	高橋 成実	国立研究開発法人防災科学技術研究所連携研究フェロー / 国立 研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震津波予測研 究開発センター上席技術研究員
	仲西 理子	国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震発生帯 研究センター主任研究員
事務局	森川 信之	国立研究開発法人防災科学技術研究所巨大地変災害研究領域地震 津波複合災害研究部門主任研究員
	山下 幹也	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター地質 情報研究部門資源テクニクス研究グループ主任研究員
	上野 寛	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官
	吉田 健一	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室調査官
	岡 岳広	気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長
	都筑 三千夫	国土地理院測地観測センター火山情報活用推進官

## 6. 議事要旨

- (1) 第 30 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨(案)を承認した。
- (2) 日本海南部の長期評価について、七尾湾東方断層帯(大泊区間)の海面基準値、富山トラフ横断断層の変位速度の推定、富山トラフ横断断層・富山トラフ西縁断層・若狭海丘列北縁断層の地震発生層の下限の深さについて議論した。
- (3) 日本海南部の区域区分、地震発生確率の評価に関するパラメータについて議論した。
- (4)
- (5) 日本海南部の名称について議論を行い、日本海中南部とした。

以上